

平成30年度

香美市立吉井勇記念館運営審議会資料

日時：平成31年2月12日（火）9：30～

場所：香美市基幹集落センター

日 程

1. 開 会

① 教育長挨拶

2. 議 事

① 委員長・副委員長の選任

② 平成30年度事業報告

③ 平成31年度事業方針

④ 平成31年度事業計画

⑤ その他

3. そ の 他

4. 閉 会

平成30年度事業方針

方針

吉井勇の業績を顕彰し、芸術文化に関する方々の知識や教養の向上を図りながら、地域とともに連携し文化の振興及び地域の活性化にも取り組む。

重点目標

地域と連携した各種事業や参加型の事業を実施し、市内はもとより県内外に向け、広く広報活動を積極的に行うなど記念館のPRに努め、吉井勇への興味、短歌や俳句など文学への関心を持ってもらうための活動を行う。

また、各種イベント・展示解説などにより吉井勇と猪野々を知ってもらい、地域おこしの一環を担う。

具体的な活動

- ① 参加型イベントの開催、星祭や歌碑巡りなど地域と連携したイベントを開催する。
- ② 吉井勇と猪野々を広めるため、歌碑マップや観光案内地図などの配布、説明を行う。
- ③ 吉井勇を顕彰し、短歌の普及、及び文学への関心を高めてもらうために、吉井勇顕彰短歌大会を開催する。
- ④ 関係機関等にもイベント等開催の案内通知を行うなど連携したPR活動を行う。
- ⑤ 芸術祭などへ参加し記念館のPR用の展示を行う。
- ⑥ マスコミ等を利用したPR活動を行う。

平成30年度吉井勇記念館事業実績

開催期間	企画行事	入館者	実績・評価・課題
15周年企画展 「吉井勇と伊野部恒吉」～隠棲を支えた心の友～ 平成29年12月27日(水)～7月1日(日)		426名 (4月～300名)	◎評価・・吉井勇と伊野部家のつながりを再確認でき、記念館との繋がりがもて出来た。 ●課題・・伊野部恒吉の魅力をもっとPRできなかったのか、来館者が少なかった。
	歌碑巡り 「春の猪野々・里山めぐり」 5月19日(土)	参加者：26名 入館者：26名	◎評価・・一定の集客が出来るようになった。TV高知が番組で取り上げてくれた。地域の協力を毎年得ることができ、地域連携が出来る。 ●課題・・参加者が満足できる見学コースの設定が難しい。内容面がマンネリ化する。
	講演会・今井章博氏 「吉井勇と伊野部恒吉」 6月9日(土)	参加者：29名 入館者：19名	◎評価・・伊野部恒吉を具体的な資料に基づいて話してもらった。 ●課題・・知っている人が少なくなり、講師を選定するのがだんだん難しくなっている。
	「第7回紫陽花コンサート」 6月23日(土)	協力者：26名 入館者：30名	◎評価・・人が思った以上に来てくれた。学芸員による講座を設けたが、今後も続けていけたらと思う。 ●課題・・集客に苦労している。毎回同じようなものになってしまうが、止むを得ない。
15周年企画展 「山ふかく人はたのしく生きてあるらし～吉井勇と猪野々びと～」 7月4日(水)～12月2日(日)		559名	◎評価・・開館15周年を記念し、猪野々地区と共催で開催した。 ●課題・・地区の入館者が、期待よりも少なかった。もう少し呼びかけが
	座談会 「猪野々今昔物語」 7月21日(土)	参加者：27名 入館者：12名	◎評価・・地域の古者3人を中心に、猪野々の昔と今を語り合い、地域を主にした話し合いができた。地域と企画展のつながりが出来た。 ●課題・・若い者に参加してほしいが、PR等が不十分だった。
	15周年イベント 短歌選手権 in 猪野々大会 8月2日(木)	参加者86名 入館者49名	◎評価・・市内10校30名の児童・生徒引率の先生方、猪野々地区班長会の皆さんが参加して開催。児童・生徒の発表、作品がとてもよく、実りあるイベントとなった。関係者との連携で、記念館・学校・地域の交流が出来た。
	星祭(8月5日～12日)	入館者53名	○評価・・地域の活性化委員会がイベントや出店を出して、活性化をがんばっている。記念館も少しでも力になりたいと、夜間開館やライトアップ等をして協力。 ●課題・・地域の世代交代がなく、広がりが弱い。若者の参加を呼びかけたい。
	第4回香北中学校演奏会 8月12日(土)	協力者16名 入館者名28名 来場者35名	◎評価・・工科大学生と香北中が合同で演奏に来てくれた。星祭と兼ねて実施。 ●課題・・中学校の部員人数が減少し、香北中単独では負担が大きい。
	紙漉き体験 9月14日(金)	中止	日程で都合がつかず。
	山里コンサートとミニ講座 9月22日(土)	参加者名35名 入館者名35名	◎評価・・学芸員のミニ講座を実施。 ●課題・・コンサートの出演者より、参加者[10人]が少なかった。同じ内容が続くので、工夫が必要
	歌碑巡り 「菰生話と柚木を歩く」 10月20日(土)	参加者9名	◎評価・・柚木を中心に、地域の西本氏に説明してもらい、楽しく過ごすことが出来た。 ●課題・・リピーターが多く、コースや内容に苦慮している。
	短歌講演会・道浦母都子氏 「女性歌人の現在」 11月17日(土)	参加者36名 入館者45名	◎評価・・県内の短歌愛好者が参加し、記念館のPRに効果大であった。 ●課題・・他の行事と重なる日程であった。
	館長講演会と弾き語りコンサート 「吉井勇と猪野々」講演 「コンサート」浜田郁夫氏 12月1日(土)	参加者31名 入館者19名	◎評価・・徳島の方から団体が参加、はじめての企画であったが好評だった。 ●課題・・地域の方に多く参加してもらおう。
常設展 「吉井勇の生涯」～交友関係を中心に～ 31年12月5日(水)～3月10日(日)			
	第16回吉井勇顕彰短歌大会 平成31年3月9日(土)	参加者 名 入館者 名	

○団体の来館者

- 退職教職員女性の会「梅の実」12名(10月21日)
- 下地地区人権啓発推進委員会15名(11月10日)
- 高知市退職教職員9名(11月14日)
- 読売旅行23名(11月19日)
- 徳島歌壇16名(12月1日)

○PR活動

- 香美香南公民館研修会(9月5日)
- 高知市文学講座(9月28日)
- 中央公民館ミニ展示(12月6日～3月中旬)
- 香北文学講座(2月2日)
- 香美市市民講座(3月2日)
- 香南市高齢者学級学習会(3月19日)
文豪とアルケミスト[インターネット上]

平成31年度事業方針

方針

吉井勇の業績を顕彰し、芸術文化に関する方々の知識や教養の向上を図りながら、地域とともに連携し文化の振興及び地域の活性化にも取り組む。

重点目標

地域と連携した各種事業や参加型の事業を実施し、市内はもとより県内外に向け、広く広報活動を積極的に行うなど記念館のPRに努め、吉井勇への興味、短歌や俳句など文学への関心を持ってもらうための活動を行う。

また、各種イベント、展示解説などにより吉井勇と猪野々を知ってもらい、地域おこしの一環を担う。

具体的な活動

- ① 参加型イベントの開催、星祭や歌碑巡りなど地域と連携したイベントを開催する。
- ② 吉井勇と猪野々を広めるため、歌碑マップや観光案内地図などの配布、説明を行う。
- ③ 吉井勇を顕彰し、短歌の普及、及び文学への関心を高めてもらうために、吉井勇顕彰短歌大会を開催する。
- ④ 関係機関等にもイベント等開催の案内通知を行うなど連携したPR活動を行う。
- ⑤ 芸術祭などへ参加し記念館のPR用の展示を行う。
- ⑥ マスコミ等を利用したPR活動を行う。
- ⑦ 全国文学協会やこうちミュージアムネットワーク等の関係機関と連携した企画・展示等を行い、記念館のPR活動を行う。

平成31年度吉井勇記念館事業計画

月	日	行事	計画・概要
前期	3月13日(水) ～7月7日(日)	企画展 吉井勇と「五足の靴」 ～九州旅行と南蛮文学～	吉井勇、与謝野寛、木下杢太郎、北原白秋、平野万里の5人の紀行文を元にして、南蛮文学等や後世に与えた影響を資料展示しながら、解説・紹介する。
5	5月25日(土)	企画展「五足の靴」展時説明会	職員による解説
6	22日(土)	第8回紫陽花コンサート	橘ハーモニカクラブの協力
後期	7月10日(水)～ 12日2日(月)	企画展 吉井勇「わが点鬼簿」 ～忘れ得ぬ人々～	随筆「わが点鬼簿」に綴られた人を中心に、勇の忘れ得ぬ人々を歌や資料等で展示、紹介する。
7	30日(月)	記念館見学会	小中の国語部会の先生を招待
8	4日(日) ～11日(日)	第16回星祭り～七夕まつり～ 松明(11日)	地域と一緒にイベントを開催 記念館は七夕飾り実施
8	27日(火)	紙漉き体験(大宮小学校5年)	講師：宮地亀好氏
9	28日(土)	猪野々で短歌を	短歌結社の方に依頼
10	26日(土)	吉井勇の短歌を詠む	山田高校文芸部の協力
11	16日(土)	猪野々で俳句を	俳句結社の方に依頼
11	30日(土)	館長講話「木村久夫と吉井勇」	
	未定(土)(日)	山田地区文化展	吉井勇記念館・溪鬼荘・企画紹介
	未定(土)(日)	香北地区文化展	吉井勇記念館・溪鬼荘・企画紹介
	未定(土)(日)	物部地区文化展	吉井勇記念館・溪鬼荘・企画紹介
12	5日(水) ～3月19日(日)	常設展「吉井勇の生涯」	
3	7日(土)	第17回吉井勇顕彰短歌大会	講演：玉井清弘氏 講評：玉井清弘氏、井上佳香氏

平成31年度吉井勇記念館企画案概要

(1) 吉井勇「五足の靴」～九州旅行と南蛮文学～

3月13日(水)～7月7日(日)

平成30年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録された。明治40年8月に行った与謝野寛、北原白秋、平野万里、木下杢太郎、吉井勇の旅は、「南蛮文学」の誕生、あるいは近代の紀行文学の誕生といわれ、旅と文学を結びつける契機になった。企画展では、「五足の靴」の紀行文を基に、長崎・天草の歴史・文化とも関連させながら、後世に与えた影響等について資料を展示、解説する。

- (2) 企画展「五足の靴」展示説明会 5月25日(土) 13時30分～14時30分
勇らの辿った道程を地図や紀行文を読み解きながら、展示解説を行う。
- (2) 第8回紫陽花コンサート 6月22日(土) 14時～
橘ハーモニカクラブの皆さんによる演奏会。
- (4) 企画展・吉井勇「わが点鬼簿」～忘れ得ぬ人々～ 7月10日(水)～12月2日(月)
与謝野寛、北原白秋、小山内薫等、勇に影響を与えた人々を勇自身が語る。
それらの資料や文章や・歌から勇と彼らのつながりを展示、紹介する。
- (5) 記念館見学会 7月30日(月)
市内小中学校の国語部会の先生方に、記念館を紹介し、児童・生徒の学習に生かせないか、あるいは地域学習の参考にしてもらえないかという思いから、見学会を実施したい。
- (6) 紙漉き体験 8月27日(火)
大宮小学校5年生の紙漉き体験。指導は宮地亀好氏。
- (7) 猪野々で短歌を 9月28日(土)
短歌結社の会員に協力を呼びかけ、猪野々で短歌会を実施してもらう。
- (8) 吉井勇の短歌を詠む 10月26日(土) 山田高校文芸部に協力依頼(バス1台)
吉井勇の短歌を高校生の感性で読み解いていく。また、一般参加の方々にも、勇の短歌の魅力を感じてもらえるような会にする。
- (9) 猪野々で俳句を 11月16日(土) 俳句結社の方に協力依頼
短歌会と同じ内容で実施
- (10) 館長講話「木村久夫と吉井勇」 11月30日(土)
吉井勇と木村久夫の絆を短歌を中心に説明、併せて二人の知性と感性の豊かさを紹介。
戦時下に生きた二人の相違にも触れてみたい。
- (11) 常設展示「吉井勇の生涯」 12月5日(月)～3月19日(日)
勇の生涯を概観する資料・作品等を展示。
- (12) 第17回「吉井勇顕彰短歌大会」 3月7日(土) バス1台
猪野々集会所で開催。
- (13) 市内文化展への参加(山田地区・香北地区・物部地区)

平成30年度寄贈品

- 塩谷 勝氏（岐阜県）より、吉井勇書簡 葉書2点
- 能條篤史氏（東京都）より、吉井勇直筆原稿用紙「物語 光琳屏風」1点（18枚）
- 塩谷 勝氏（岐阜県）より、吉井勇直筆短冊1点、雑誌8点、書籍3点ほか

平成30年度贈呈品

- 玉井 清氏（香川県）より、歌集「谿泉」
- 佐藤恵子氏（徳島県）より、歌集「山麓の家」、短歌絵本「どんぐり山の麓の家」他1冊
- 徳島県立文学書道館より、田中富雄著「古代歴史小説集」
- 朝日新聞出版より、「週刊 日本百名山」78号 三嶺・東赤石山・笹ヶ峰

平成30年度資料貸出等

- 安田まちなみ交流館・和
企画展「中芸みんなの日本遺産写真・資料展～日本一の御留山から魚梁瀬森林鉄道へ」のため、写真データ（3点）を提供
- 朝日新聞出版
「週刊 日本百名山」78号 三嶺・東赤石山・笹ヶ峰に掲載のため、写真データ（4点）を提供
- 北日本新聞社文化部
北日本新聞朝刊（H30.8.1）掲載のため、肖像写真画像データ（1点）を提供
- 八幡市立松花堂庭園・美術館
特別展「少女ゴコロと竹久夢二」関連講演会「夢二と勇～犬正浪漫と『祇園歌集』～」(講師 細川光洋氏・静岡大学)の情報告知掲載のため、肖像写真画像データ（1点）を提供
- 早稲田大学歴史館
早稲田大学歴史館2019年度常設展示のため、肖像写真画像データ（1点）を提供
- 株式会社山川出版社
書籍「ハンドブック 作家の記念館」掲載のため、写真データ（3点）を提供

平成30年度契約等

- 高知県観光コンベンション協会
 - 「龍馬パスポート」利用可能施設（継続）
 - HP「よさこいネット」への情報掲載
- 高知県交通安全協会会員特典加盟店（継続）
- JAF割引施設（継続）
- カードラリー運営事務局
 - 阿波銀行・百十四銀行・伊予銀行・四国銀行の4銀行主催の、
- 「ミュージアム88inカードラリーin四国」（継続）
- 香美市スタンプラリー
 - 香美市立美術館、やなせたかし記念館とスタンプラリーを実施（継続）
- (株)エディターズ
 - ガイドブック「まっふるマガジン」（昭文社）への館紹介記事掲載
- 編集工房リテラ
 - ガイドブック「るるぶ高知」への館紹介記事掲載
- 株式会社クリケット
 - 高知県観光パンフレット「こうちじん」への館紹介記事掲載

香美市立吉井勇記念館運営審議会委員名簿

NO.	役員	委嘱区分	氏名	所属
1		学識経験者	宮地 亀好	短歌
2		学識経験者	猪野 展弘	地域代表
3		学識経験者	野村 博	俳句
4		学識経験者	竹村 清	地域代表
5		市職員	黍原 美貴子	香北支所長
6		市職員	川 田 学	企画財政課長
7		市職員	中山 繁美	定住推進課長
8		市職員	野島 恵一	教育次長

任期(平成30.4.1~平成32.3.31)

香美市立吉井勇記念館職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
館長	山中 幸三郎	生涯学習振興課長	岡本 博章
学芸員	矢野 恵	班長	依光 伸枝
学芸員	高月 明	生涯学習振興課地域教育主幹	山下 聡
		香北分室分室長	吉本 浩二